

年 組 名前:

# 中央市が地域交通計画原案

## 「デマンド」移行を検討



桑原久美子  
井村賢紳

中央市は、リニア中央新幹線の開業を見据え、将来に向けて取り組むべき交通施策の方向性を示す「地域公共交通計画」の原案をまとめた。

現在、市内で運行している「コミュニティバス」とまちユウバス」は廃止も視野に抜本的に見直し、デマンド交通など新たなサービスへの移行を検討することを盛り込んでいる。31日からホームページなどで公開し、意見を募集している。

とまちユウバスは2012年に運行開始した。年間利用者は8500人ほどで1便当たりの利用者は4〜5人。「利用客が固定化し、定時・定路線のとまちユウバスでは、多様化する移動ニーズに対応しきれない現状がある」（市企画課という）。

計画案では、とまちユウバスの見直しと併せ、乗客が事前に予約した目的地に応じた区間を運行するデマンド交通の導入を検討。2025年度から実証運行を行い、27年度からの本格運行を目指す。周辺自治体との広域連携による運行の可能性も検討する。

計画の基本理念には、「誰もが利用しやすく移動しやすい仕組みづくりの実現」を掲げ、基本方針には①「交通弱者」の救済②「交通空白地域」の解消③「実現可能」で「持続可能な公共交通の形成④「広域的な視点」「地域間の視点」「地域内の視点」によるネットワークの構築」を据えた。計画期間は24〜28年度の5年間。

計画案は、バスなど公共交通の事業所、国や県の関係部署の代表者らで構成する「地域公共交通活性化協議会」がまとめた。市役所やホームページで公開し、2月20日まで市民の意見を募集。年度内に策定する。

〈桑原久美子〉

(2024年1月31日付 山梨日日新聞 16面)

問1 中央市が、将来に向けて取り組むべき交通施策の方向性を示す計画名を、教えてください。

..... 計画

問2 計画している「デマンド交通」について、説明してください。

.....

問3 計画の基本理念を教えてください。

.....

問4 あなたなら、どのような「将来に向けて取り組むべき交通施策」を考えますか。

.....

.....